

【P148・149】

1 次の漢字の部首名を平仮名で書きなさい。

- ① 冗 ② 彫 ③ 祝 ④ 衝 ⑤ 超 ⑥ 胆 ⑦ 疾 ⑧ 慕

1 わかんむり	2 さんづくり	3 しめすへん	4 ぎょうがまえ
5 そうによう	6 にくづき	7 やまいだれ	8 りっしんべん

2 次の漢字の総画数を、それぞれ算用数字で答えなさい。

- ① 裏 ② 級 ③ 匠 ④ 隔 ⑤ 登 ⑥ 承 ⑦ 抑 ⑧ 娛 ⑨ 違 ⑩ 既

1 13	2 9	3 6	4 13	5 12
6 8	7 7	8 10	9 13	10 10

3 次の漢字を漢和辞典で調べる場合、なんと**いう**部首の何画のところを引けばよいですか。部首名をAに書き、画数をBに算用数字で答えなさい。

- ① 詠 ② 郭

①		②	
A じんべん	B 5	A おおざと	B 8

4 次の——線部の漢字と同じ漢字を使うものを、それぞれあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

① マグロの収獲高が増える。

- ア メロンの収力^カが始まる。
ウ 教育制度の改力^カを行う。
エ 実験の成功を力^カ信する。
イ 入賞のメダルを力^カ得する。

② 安価だが粗^セ悪な製品が多い。

- ア 人類のソ^ソ先について学ぶ。
ウ 参加者にソ^ソ品を配る。
エ 敵の侵入をソ^ソ止する。
イ 大きなソ^ソ織に属する。

①	エ	②	ウ
---	---	---	---

5 次の——線部の片仮名を漢字に直しなさい。

- 「A 順^ジ」よく説明する。
① B 有害物質をジ^ジ去する。
「C 車がカーブでジ^ジ行する。
「A 条約のコ^ウ力を明記する。
③ B 計画の内容を変コ^ウする。
「C 都市の近コ^ウに住む。
「A ケ^ケ悪な雰^キ囲気になる。
② B 機械を点ケ^ケんする。
「C 光熱費をケ^ケん約する。
「A 行動ハ^ン囲を広げる。
④ B 熟考してハ^ン断を下す。
「C 家族同ハ^ンで出席する

③			①		
C 郊	B 更	A 効	C 徐	B 除	A 序
④			②		
C 伴	B 判	A 範	C 儉	B 検	A 陰

6 次の——線部の片仮名と同じ漢字を使うものを、それぞれあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

① ヨットが進路を南にカえる。

ア 童謡のカえ歌を作る。

ウ 観点をカえる。

イ サインで押印にカえる。

エ バスに乗りカえる。

①
ウ
②
ア

② 無駄を省いて合理化をハかる。

ア 待遇の向上をハかる。

ウ 議案を重役会にハかる。

イ 駅までの距離をハかる。

エ リレーのタイムをハかる。

7 次の——線部の片仮名を漢字に直しなさい。

① A イんだ家を修復する。

「B 事件の報道に胸がイたむ。

「A 公約の実現にツとめる。

③ B 貿易会社にツとめる。

「C 劇の主役をツとめる。

「A 名所の前で写真をトる。

— B 検査のために血をトる。

⑤ C オークストラの指揮をトる。

「D 畑を荒らすネズミをトる。

② A 折り紙を細かくサく。

「B 基本練習に時間をサく。

「A 三時に知人とアう。

④ B 売り上げの計算がアう。

「C 旅先で困難にアう。

③			②		①	
C 務	B 勤	A 努	B 割	A 裂	B 痛	A 傷
⑤				④		
D 捕	C 執	B 採	A 撮	C 遭	B 合	A 会

【P150・151】

1 次の——線部の熟語の意味を、それぞれあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

① A 自然の脅異。

「B 戦争の脅威。

ア おびやかし、おどすこと。

ウ 変化が非常に激しいこと。

イ 要求を無理に通そうとすること。

エ おどろくほどすばらしいこと。

② A 周知の事実。

「B 衆知を集める。

ア 古くからの知り合い。

ウ 広く知れ渡っていること。

イ 多くの人々の知恵。

エ 正式に認めること。

①	
B ア	A エ
②	
B イ	A ウ

2 次の□に当てはまる熟語を、それぞれあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 演劇に「」があるので、その分野に進みたい。

ア 関心

イ 感心

ウ 歓心

エ 寒心

② 「」な人物や車を見かけたら、交番に届けよう。

ア 不振

イ 腐心

ウ 不信

エ 不審

①
ア
②
エ
③
ウ

③ 環境問題への注意を「」する番組を放送する。

ア 歓喜

イ 寒気

ウ 喚起

エ 換気

3 次の——線部の片仮名を漢字に直しなさい。

- ① A ごみのシュウシュウ日。
「B 事態のシュウシュウは困難だ。
② A イジヨウ気象が続く。
「B 体のイジヨウが見つかる。
③ A 過去の悪事をセイサンする。
「B 工事費用をセイサンする。
④ A 商品の品質をホシヨウする。
「B 国民の安全をホシヨウする。
「A 大会の準備キカンが短い。
⑤ B 公共の交通キカンを使う。
「C 胃腸などの消化キカン。
- 「A イシが弱くて流されやすい。
⑥ B 賛成のイシを示す。
「C 故人のイシを継ぐ。
「A 別れのカンシヨウに浸る。
⑦ B 映画のカンシヨウ会を開く。
「C カンシヨウ用の植物。
「A 工事で交通をキセイする。
「B キセイの法律に照らす。
⑧ C キセイ客で新幹線が込む。
「D キセイ品のスカートをはく。

4 次の熟語の構成の説明に合っている熟語をあとから二つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 上の漢字が下の漢字を修飾している。
② 下の漢字が上の漢字の目的や対象を示している。
③ 上の漢字と下の漢字が主語と述語の関係になっている。

ア 帰郷 イ 日没 ウ 地震 エ 湿潤
オ 貴社 カ 強敵 キ 厳守 ク 惜別

5 次の漢字のうち、「個々」のように同じ漢字を重ねた構成の熟語を作れないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 延 イ 短 ウ 往 エ 徐

イ

6 次の熟語と同じ構成の熟語を、あとの漢字を組み合わせて二つずつ作りなさい。

- ① 生産 ② 勝敗

〔善 防 意 超 緩 急 越 犯 悪 止〕

①	超越	防止	②	善悪	緩急
---	----	----	---	----	----

7 次の①～④の漢字には共通の接頭語、⑤・⑥の漢字には共通の接尾語がつけます。あとからひとつずつ選び、漢字を書きなさい。

- ① 実・常 ② 番・難 ③ 用・減 ④ 完・到 ⑤ 特・習 ⑥ 電・硬

〈接頭語〉否 非 不 未 無 〈接尾語〉化 性 然 的

①	無	②	非	③	不	④	未	⑤	性	⑥	化
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

8 次の熟語を、省略しない元の形で書きなさい。

- ① 高校 ② 農協

①	高等学校	②	農業協同組合
---	------	---	--------

9 次の熟語と同じ構成のものを、それぞれ下からひとつずつ選び、記号で答えなさい。

① 眼前	ア 人造	イ 盛衰	ウ 国連	エ 金塊
② 就職	ア 増減	イ 勤務	ウ 遭難	エ 骨折
③ 永久	ア 暗示	イ 撰取	ウ 添削	エ 防火

①	エ	②	ウ	③	イ
---	---	---	---	---	---

【P152・153】

1 次の構成の四字熟語を、あとの二字熟語を組み合わせる二つずつ作りなさい。

- ① 意味の似た二字熟語を組み合わせたもの。
② 意味が違う二字熟語を組み合わせたもの。

〔公明 工夫 一喜 無実 栄枯 一憂 有名 盛衰 一転 正大〕

①	公明正大
②	一喜一憂
有名無実	栄枯盛衰

2 次の□に当てはまる漢数字を書き、四字熟語を完成させなさい。

①	三 拝	②	朝 三 暮 四	③	七 転	八 起	④	五 臓	六 腑
---	-----	---	---------	---	-----	-----	---	-----	-----

3 次の意味を表す四字熟語をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 手がかりもないまま、いろいろ試してみること。
② 自分の考えをもたず、簡単にほかの人の意見に従うこと。
③ 筋道が通っておらず、内容がばらばらでまとまりのない様子。
- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | オ | ② | ア | ③ | ウ |
|---|---|---|---|---|---|

ア 付和雷同 イ 疑心暗鬼 ウ 支離滅裂 エ 徹頭徹尾 オ 暗中摸索

4 次の「」に当てはまる四字熟語をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 「」を繰り返して、新製品の開発に成功した。
② 最初は「」にこだわらず、計画の概要を決めてしまう。
③ 花火大会のために、実行委員が「」する。
④ 制度が「」に終始し、定着する間がなかった。

ア 試行錯誤 イ 東奔西走 ウ 单刀直入 エ 朝令暮改 オ 無味乾燥 カ 枝葉末節

①	ア	②	カ	③	イ	④	エ
---	---	---	---	---	---	---	---

5 次の言葉のうち、類義語はどれとどれですか。それぞれ二つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① ア 儉約 イ 質素 ウ 蓄積 エ 節約 オ 節度
② ア 手段 イ 段階 ウ 方針 エ 処置 オ 方法
③ ア 思案 イ 意図 ウ 案外 エ 意外 オ 予想

①	ア	エ	②	ア	オ	③	ウ	エ
---	---	---	---	---	---	---	---	---

6 次の□に当てはまる漢字一字を書き、対義語の組み合わせを完成させなさい。

- ① 客観 ⇄ □ 観 ② 偶然 ⇄ □ 然 ③ 絶対 ⇄ □ 対 ④ 能動 ⇄ □ 動 ⑤ 上昇 ⇄ 下 □ ⑥ 軽薄 ⇄ □ 厚

①	主	②	必	③	相	④	受	⑤	降	⑥	重
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

7 次の言葉の対義語を、それぞれ下から一つずつ選び、記号で答えなさい。

①建設	ア	破壊	イ	設計	ウ	解体	エ	基礎	①	ア
②創造	ア	伝統	イ	空想	ウ	模倣	エ	独創	②	ウ
③物質	ア	架空	イ	精神	ウ	実態	エ	本質	③	イ

8 次の□に当てはまる打ち消しの漢字をあとから一つずつ選び、対義語の組み合わせを完成させなさい。

- ①完備 ⇄ □備 ②有能 ⇄ □能 ③当番 ⇄ □番 ④正当 ⇄ □当 ⑤既知 ⇄ □知 ⑥肯定 ⇄ □定

〔否 非 不 未 無〕

①	不	②	無	③	非	④	不	⑤	未	⑥	否
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

9 次の言葉の対義語を漢字で書きなさい。

- ①理想 ②需要 ③生産 ④一般 ⑤安全 ⑥保守 ⑦延長 ⑧禁止

⑤	危険	①	現実
⑥	革新	②	供給
⑦	短縮	③	消費
⑧	許可	④	特殊

【P154】

1 次の意味を表す慣用句をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ①本性を隠しておとなしそうに見せる。
②待ちくたびれて我慢できなくなる。①
③とらえどころがなく、はつきりしない。
④経験を積んで、動作や態度がそれらしくなる。
⑤用事の途中で、無駄なおしやべりをして怠ける。
⑥相手の方が自分より上だと認め、敬意を表す。

①	イ	②	カ	③	オ	④	ア	⑤	エ	⑥	キ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- ア 板につく イ 猫をかぶる ウ しのぎを削る エ 油を売る オ 雲をつかむ
カ しびれを切らす キ 一目置く ク さじを投げる

2 次の□にに当てはまる体の部分を表す漢字一字を書き、□の意味を表す慣用句を完成させなさい。

- ①□に合う〔食べ物の味が好みに合う〕
②□に余る〔ひどくて黙って見てられない〕
③□をもつ〔味方をする〕
④□に掛ける〔自慢する〕
⑤□を据える〔落ち着いて物事をする〕
⑥□をそろえる〔金額を不足なく用意する〕

①	口	②	目	③	肩	④	鼻	⑤	腰	⑥	耳
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3 次の慣用句と意味の組み合わせで誤っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 水を差す — 横からじゃま入れる。
イ 水に流す — 全て無かったことにする。
ウ 水をあげる — 相手に差をつける。
エ 水を漏らさぬ — 非常に結びつきが強い。

エ

4 次の――部の慣用句の使い方が正しいものを二つ選び、記号で答えなさい。

ア 生徒会長に立候補してくれと頼まれたが、僕では役不足だと断った。

イ 大事な客なので、木で花をくくったような態度で迎える。

ウ 思いもよらない相手の反応に驚いて、二の句が継げなかった。

エ 気を置けない人物ばかりの会合だったので、緊張しおどしかった。

オ 無名な対戦相手だと高をくくっていると、負けることになる。

ウ
オ

5 次の「」にあてはまる慣用句をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 一日中だらだらと過ごしてしまい、せっかくの休日を「」。

② まったく「」うわさなので、どこから出たか分からない。

③ この選手は一流のプロ野球選手になれると、コーチが「」。

④ 気に入ったグラスを貰おうと思ったが、値段が高いので「」。

⑤ 彼は「」言い方をするが、間違ったことは言っていない。

ア 歯に衣着せぬ イ 棒に振る ウ 太鼓判を押す
エ 輪をかける オ 根も葉もない カ 二の足を踏む

①
イ
②
オ
③
ウ
④
カ
⑤
ア

【P155】

1 何かの意味を表すことわざをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 何かをしようとした時、ちやうど都合の良いことに巡り合う。

② その道のことは、それぞれの専門家に任せるのが最もよい。

③ 他人の利益のために、危険なことをする。

ア 釈迦に説法 イ 渡りに船 ウ 餅は餅屋 エ 火中の栗を拾う

①
イ
②
ウ
③
エ

2 次の□に当てはまる漢数字を書き、ことわざを完成させなさい。

① □里の道も一歩から ② □人よれば文殊の知恵 ③ 三つ子の魂□まで

④ □足のわらじを履く ⑤ 石の上にも□年 ⑥ 一寸の虫にも□分の魂

①
千
②
三
③
百
④
二
⑤
三
⑥
五

3 次のことわざのうち、Ⅰ…同じ意味を表すもの、Ⅱ…反対の意味を表すものをそれぞれ一組ずつ選び、記号で答えなさい。

ア のれんに腕押し イ 立つ鳥跡を濁さず ウ 下手の横好き エ まかぬ種は生えぬ
オ ぬかに釘 カ 石橋をたたいて渡る キ 月とすっぽん ク あとは野となれ山となれ

Ⅰ
ア
オ
Ⅱ
イ
ク

4 次の「」に当てはまることわざをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 彼は北海道に引っ越してから「」で、近況は全くわからない。
② こんな近くに美しい夜景が見られる場所があったとは、「」だ。
③ 最近練習不足だったから、試合に負けたのは「」だ。
④ 今回の書道展はどの作品も「」で、大賞の受賞は見送られた。

ア 灯台下暗し イ 馬の耳に念仏 ウ 魚心あれば水心 エ 梨のつぶて
オ 身から出た錆 カ どんぐりの背比べ

①
エ
②
ア
③
オ
④
カ

5 次の意味を表す故事成語をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 一度したことは取り返しがつかないこと。
② 余計な心配をすること。
③ 最後の大事な仕上げ。
④ 無駄なもの。役に立たないもの。

ア 杞憂 イ 蛇足 ウ 画竜点睛 エ 覆水盆に返らず

①
エ
②
ア
③
ウ
④
イ

6 次の——線部の故事成語の使い方が正しいものを選び、記号で答えなさい。

- ア 不正を許さない彼の姿勢は、虎の威を借る狐として恐れられている。
イ 賛同者に恵まれず四面楚歌となったが、根気強く説得を続けた。
ウ 新しく就任した社長を、社員全員で三顧の礼を尽くして迎える。
エ 人の体験談は他山の石なので、実際に自分で体験してみないとわからない。

イ
